

スクール第1期生に聞きました



受講生
アグリビジネス科
アグリビジネス講座
永島 誠治さん
(稗原町)

野菜の直売所見学などを通して、野菜は作るだけでなく、いかに販売してもらうにつなげていくことが大事かを学びました。
この自然に囲まれた稗原の地に、地元産のそば粉を使った手打ちそば処を開けば、都会などから客を呼べないだろうかと考えるようになりまし。そこで新鮮な野菜や干し大根などの加工品も販売できればと夢が広がります。



受講生
アグリビジネス科
特別集中講座
大島 一雄さん
(佐田町須佐)

全国のグリーンツーリズムの取り組み事例や、実地研修で実践者の話を聞くことができ、とても勉強になる講座でした。
講師の方からもアドバイスをいただき、いよいよ5月には、空き家を改築した体験・宿泊施設「縁荘」をオープンする運びとなりました。料理や体験プログラムなど、お客さんを満足させる運営方法を学ぶために、今年アグリビジネス実践研究科を受講するつもりです。



講義



栽培研修

農業の担い手対策として、昨年7月に開校したアグリビジネススクール。2年目は、スクールをさらに充実したものにすため、ビジネス構想を実践する起業家の育成を目指す『アグリビジネス実践研究科』を新設します。
すでに農業に携わっている人はもちろん、これから始めたいと考えている人や企業の参加を待っています。

あなたの

やりたい農業

みつげませんか



現地研修

さあ、あなたもアグリビジネススクールへ

アグリビジネス科

募集中

受講期間：6月～2月 受講料：3万円
募集期限：5月25日(金)

【経営感覚の養成】

アグリビジネス講座 (全15回)
アグリビジネスを実践するために必要なアグリマーケティングや経営管理の知識、ビジネス運営やビジネスプラン構築のノウハウを学習します。今までの農業のイメージにとらわれず農業で新たなビジネスを起こしたいと考えている人におすすめです。

農業法人経営講座 (全15回)
農業法人経営のために必要な経営知識、合意形成の進め方から農業ビジョンの戦略的計画立案や経営分析を学習します。農業に企業的な経営手法を取り入れたいと考えている認定農業者や集落営農の方におすすめです。

特別集中講座 (テーマごとに3回)
「農産物直売所運営」「グリーンツーリズム」「販売戦略」の3つのテーマについて、実践的な内容を短期間で集中的に学習します。

申込方法 / アグリビジネススクール、市役所本庁受付または各支所、JAいずも各支店に置いてある申込用紙をファクスなどで下記まで提出してください。
提出先・おたずね / アグリビジネススクール(県出雲合同庁舎1階)
(TEL 21 - 6122・FAX 21 - 6126)

アグリビジネス実践研究科

募集中

受講期間：6月～2月(全8回予定)
受講料：3万円 募集期限：5月25日(金)

【アグリビジネス(起業家)の創出】

ビジネスプランの立案指導から事業計画書の作成、そしてもうかる仕組みづくりの指導、実践に向けての事業化支援を行います。アグリビジネス科修了生はもとより、アグリビジネスの起業・事業化の構想をお持ちの方におすすめです。

就農チャレンジ科

9月頃募集予定

受講期間：12月から1年間

【栽培技術の習得】

新たに就農を希望する人を対象に、市の三大特産果樹の栽培知識と技術を学びます。
農業のみで生計を立てたい人はもとより、定年退職後の人生設計や生きがいづくりに取り組みたい人にもおすすめです。

ぶどうチャレンジ講座 受講料：3万円
柿チャレンジ講座 受講料：1万円
いちじくチャレンジ講座 受講料：1万円

作る農業から もうかる農業へ

農業者の高齢化や後継者不足、農業生産額の減少など、市の農業を取り巻く環境は厳しく、新たな担い手の育成が求められています。

担い手を増やすためには、農業が魅力あるものでなくてはならず、作る農業からもうかる農業への意識転換が必要になりました。

市が目指すアグリビジネスとは、「農業アグリカルチャー」と「商売ビジネス」を組み合わせることで、農業生産、農産物加工、流通、販売、観光、交流などを含めた農業全般に関わるビジネスのことを言います。

市では、おいしい農作物を作るだけでなく、収益の上がる品種を作り、付加価値をつけて販売する、アグリビジネスを進めていくために、全国に先駆けて昨年7月にアグリビジネススクールを開校しました。

スクールで生み出された ビジネス構想

スクールは、企業の経営センスを身に付け、アグリビジネスを目指す人材づくりを行う「ア

グリビジネス科」と、これから農業を始めようとする人を対象とした「就農チャレンジ科」の2学科でスタートしました。
受講生の中には、自らの創意工夫により地域資源を生かしたビジネスチャンスをつかむことの重要性や、販売して初めて商品になることなど、ビジネスのポイントを学んでいくうちに、エコ米やぶどうのインターネットを活用した販売など、具体的なビジネス構想が生まれました。

ビジネス構想の 実現に向けて

今年度から新設するアグリビジネス実践研究科では、このようなビジネス構想の実践を目的としています。経営コンサルタントをはじめとする各分野の専門家が講師となって指導し、起業をサポートします。

あなたの思い描くビジネス構想を実現するため、ぜひ受講してみてください。

また、アグリビジネス科の第2期生も募集します。就農チャレンジ科は9月頃の募集予定です。みなさんのやる気で、出雲の農業を変えていきませんか。積極的な参加を待っています。